

寺田総務相更迭

政治資金問題 首相おわび「正念場」

後任に松本元外相



寺田 稔氏

岸田文雄首相は二十日、政治資金問題が相次ぎ発覚した寺田総務相を更迭した。政治資金規正法の担当閣僚として不相当と判断した。寺田氏は同日夜、公邸で首相に辞表を提出し、受理された。首相は後任に松本剛明元外相を起用する方針だ。閣僚辞任は山際大志郎前経済再生担当相、葉梨康弘前法相に続き、一カ月弱で三人目。首相は記者団

に任命責任を認め「深くおわびする」と陳謝した。二〇二三年度第二次補正予算案などの政策課題を挙げ「正念場を迎えている」と述べた。閣連⑥面
野党は首相の判断が遅いとして厳しく追及。立憲民主党の泉健太代表は「首相の決断力、指導力を疑わざるを得ない」とのコメントを発表した。二十一日から予定している補正予算案の審議日程に影響する可能性がある。政権への打撃は必至だ。

寺田氏を巡っては、関係する政治団体が故人を会計責任者とした政治資金収支報告書を提出していた問題などが次々と発覚。野党は「政治資金の所管閣僚として不適格だ」と連日、国会で辞任要求を続けた。自民党内でも辞任論が広がった。寺田氏は十八日の記者会見で「地元の方々からは説明に感心した」という声しか聞いていない。職責を果たす中で岸田内閣を支えていきたいと辞任を否定。だが二十日夜「私の政治資金問題が国会審議の差し障り

総務



まつもと たけまさ
松本 剛明

63

民主党政調会長、外相。
自民政調会長代理。東大卒
(麻生派) 衆⑧兵庫11区

(丸数字は当選回数、敬称略)

になつてはならない」と辞表提出の理由を説明した。寺田氏は衆院広島5区選出で当選六回。岸田派(宏池会)に所属し、首相補佐官から八月の内閣改造で初入閣した。妻の祖父は宏池会創設者の池田勇人元首相。